

科目名 (科目番号)	病態学 (時間割参照)	教員名	大越 教夫	学科等	臨床検査	必修	履修年次	2
				曜日・時限等	時間割表参照	単位数	2	
				授業形態	講義	オフィスアワー	月3,4・B309研究室	
授業概要	臨床検査技師に必要な臨床病態学の基本的事項、高頻度の重要な疾患の診断と治療の概略を説明する。また、各臓器別・系統別の主要疾患の病態について習得できるよう、診断・治療の根拠を解説する。また、現代医学の現状を踏まえ、臨床検査医学との関連や重要性についても解説する。							
目的・目標	目的:臨床医学の病態、症状、診断、治療法を学び、臨床医学の診断や治療における臨床検査の意義および有用性を理解する。 目標:①さまざまな疾病・臓器別疾病の原因・症候の概略を説明できる。 ②主要な疾患や病態における臨床検査の異常値の意義を理解できる。							
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1	医学概論・循環器系疾患(1)	到達目標:救急医療、心臓・血管系の主要な疾患について説明できる。 学習内容:疾病の原因・症候と検査診断学、救急医療、心不全、不整脈、先天性・後天性心疾患					
	2	循環器系疾患(2)	到達目標:心臓・血管系の主要な疾患について説明できる。 学習内容:虚血性心疾患、心臓・心筋、血管系疾患					
	3	呼吸器系疾患	到達目標:呼吸器系の主要な疾患について説明できる。 学習内容:上気道、気管支、肺、胸膜の疾患					
	4	消化器系疾患	到達目標:消化器系の主要な疾患について説明できる。 学習内容:食道、胃、腸の疾患					
	5	肝胆膵系疾患	到達目標:肝・胆・膵系の主要な疾患について説明できる。 学習内容:肝・胆・膵の疾患					
	6	血液造血器系疾患(1)	到達目標:血液・造血系の主要な疾患について説明できる。 学習内容:血液疾患(貧血、悪性腫瘍、凝固線溶)					
	7	血液造血器系疾患(2)	到達目標:血液・造血系の主要な疾患について説明できる。 学習内容:血液疾患(貧血、悪性腫瘍、凝固線溶)					
	8	内分泌系疾患	到達目標:内分泌系の主要な疾患について説明できる。 学習内容:下垂体、甲状腺、副甲状腺、副腎の疾患					
	9	代謝・栄養障害	到達目標:代謝・栄養障害の病態等について説明できる。 学習内容:栄養障害、糖尿病、代謝異常症					
	10	腎・泌尿器系疾患	到達目標:腎・泌尿器系の主要な疾患について説明できる。 学習内容:腎・尿路疾患					
	11	神経・運動器系疾患	到達目標:中枢神経系、運動器系の主要な疾患について説明できる。 学習内容:精神・神経疾患(認知症を含む)、中枢神経系、筋疾患、骨疾患					
	12	アレルギー性疾患、膠原病、免疫異常	到達目標:アレルギー、膠原病、免疫異常の主要な疾患について説明できる。 学習内容アレルギー性疾患、膠原病、免疫異常					
	13	その他の疾患	到達目標:その他の主要な疾患の病態・診断・治療について理解する。 学習内容:女性生殖器、感覚器、中毒、染色体・遺伝子異常、皮膚・乳腺の疾患					
	14	感染症(1)	到達目標:主要な感染症について説明できる。 学習内容:病原体別にみた各種感染症					
	15	感染症(2)	到達目標:主要な感染症について説明できる。 学習内容:領域別の感染症、新興および再興感染症。					
成績評価の方法・基準	期末試験(100%) (対面、オンライン共通)							
教科書	病態学／臨床検査医学総論			奈良信雄, 他編		医歯薬出版 第3版(2023/2/10)		
参考図書								
教員からのメッセージ	臨床医学の学習には、解剖学、生理学、生化学が基礎になる。基本的事柄を復習しておく。臨床検査医学を学ぶためには、各臓器別・系統別の疾患の病態がイメージできることが重要である。自己学習(復習)の時間を十分にとってほしい。 病院で勤務経験のある医師がこの授業を担当します。オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知いたします。							